

糖尿病保健指導連携体制構築事業

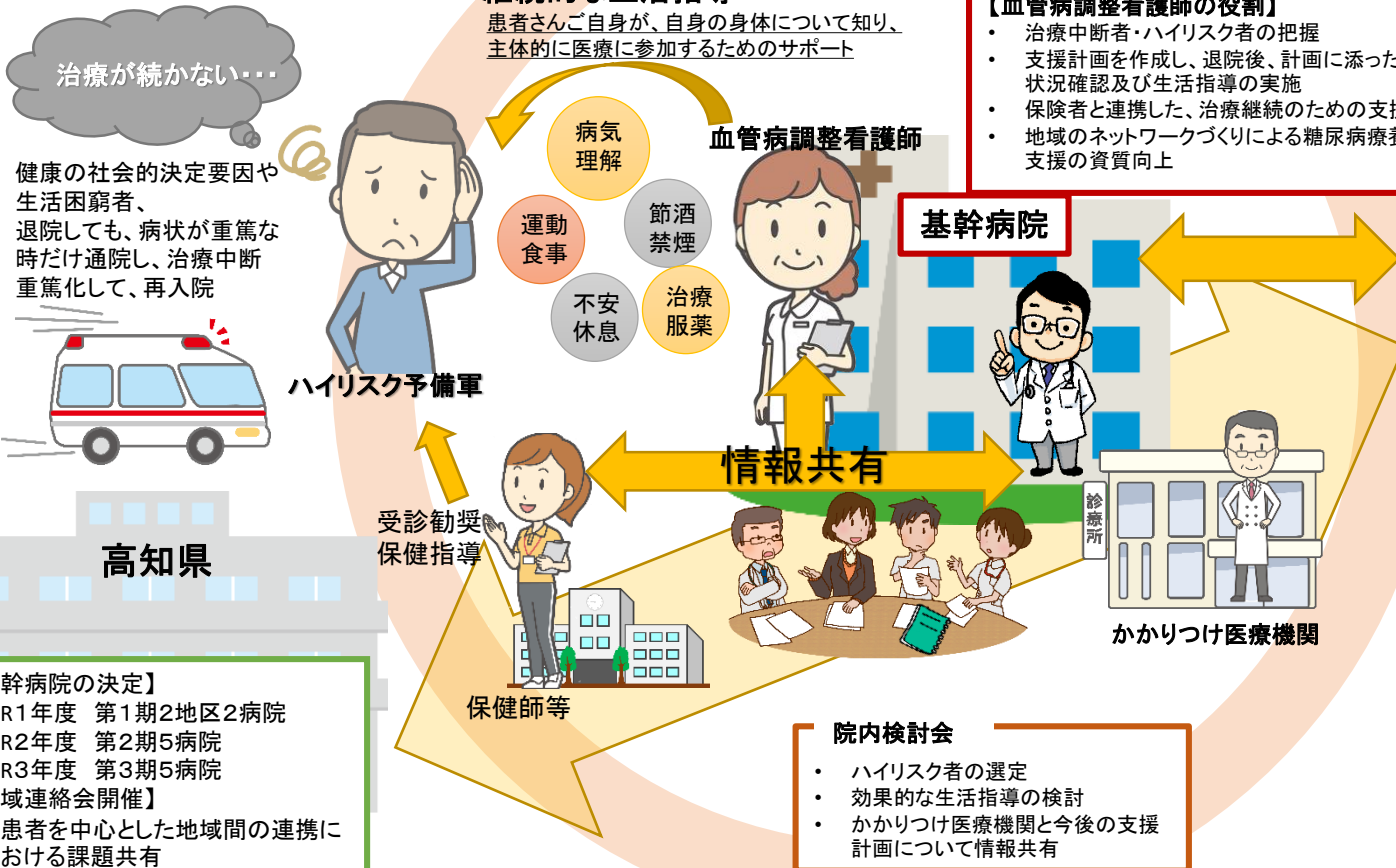
令和3年度 高知県健康政策部健康長寿政策課

全国に比べて壮年期世代の死亡率が高い高知県では、壮年期の死亡率の改善を大目標に掲げ、血管病の重症化予防に取り組んでいます。

本学では、高知県から委託を受け、看護師を核とした糖尿病患者への継続的かつ効果的な生活指導を構築するために、活動手順書を作成し、病院の外来等に従事する糖尿病療養指導士の資格を持つ看護師を、「血管病調整看護師」として育成し、保険者等との連携を促進し、高知県内の糖尿病が重症化するハイリスク者及び治療中断者を減少させるための体制づくりを支援しています。

継続的な生活指導

患者さんご自身が、自身の身体について知り、主体的に医療に参加するためのサポート



【血管病調整看護師の役割】

- 治療中断者・ハイリスク者の把握
- 支援計画を作成し、退院後、計画に添った状況確認及び生活指導の実施
- 保険者と連携した、治療継続のための支援
- 地域のネットワークづくりによる糖尿病療養支援の質向上

高知県立大学

【血管病患者を支援する活動手順書完成】

- 基幹病院の意見を取り入れ、手順書の見直し、完成
- 【血管病調整看護師育成研修会】
 - 外来等の糖尿病療養指導士の資格を持つ看護師の育成
- 【事例検討会及び合同事例検討会の開催】
 - 活動手順書を元に対応した事例についての検討会を実施
- 【事例展開への相談支援】
 - 第1期2病院、第2期5病院
- 【多職種交流会の実施】
 - 基幹病院と地域の保健医療福祉職が療養支援を連携推進するための場づくり
- 【公開講座の実施】
 - 保健医療福祉職及び一般県民に向けた糖尿病性腎症重症化予防の取り組みの紹介
- 【報告会の開催】
 - 本事業を関係機関に周知する

【基幹病院の決定】

- R1年度 第1期2地区2病院
- R2年度 第2期5病院
- R3年度 第3期5病院

【地域連絡会開催】

- 患者を中心とした地域間の連携における課題共有
- 情報共有、連携方法の検討

【予算の確保】

院内検討会

- ハイリスク者の選定
- 効果的な生活指導の検討
- かかりつけ医療機関と今後の支援計画について情報共有

【R2年度実績】

第1期モデル基幹病院 2施設
血管病調整看護師育成数 20名
活動手順書バージョンアップ

【R1年度実績】

第1期モデル基幹病院 2施設
血管病調整看護師育成数 20名
活動手順書